

〈地域発信企画 in 島根〉

「地域で生きる人々のライフコースに 寄りそい支えるための取り組み」

「地域発信企画」は、日本語教育学会秋季大会の開催地で開かれ、現地の日本語教育や学習支援の関係者が中心となって情報を発信する企画で、2017年度から始まりました。今回の開催地・島根県は人口減少が進行していますが、2019年1月1日時点での外国人増加率は15.42%で、全国1位となりました。地域社会に根差し、長期に渡って生活する外国人住民は、今後さらに日本各地で増えていくことが予想されます。そこで今回は、「地域で生きる人々のライフコースに寄りそい支えるための取り組み」をテーマとしました。

島根県内で日本語教育に関わる方々が、多様な外国人住民を対象に行っている実践や活動を、ポスター、資料、実物などを通して紹介します。開催地からの発信に耳を傾け、参加者それぞれが新たな発見や刺激を得たり、相互に意見や情報を交換したりする場となり、新しいつながりが生まれることを期待しています。ぜひご参加ください。

日時：2019年11月24日（日）

12：10～13：20

**会場：島根県松江市 くにびきメッセ
3階 308、309、310 商談室**



**※参加費無料、事前申込不要。
どなたでもご参加できますので、
直接会場へお越しください。
交通・アクセスはこちら👉
<http://www.kunibikimesse.jp/>**

主催：公益社団法人日本語教育学会 支部活動委員会
〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会新館 2F
Tel 03-3262-4291 Fax 03-5216-7552
E-mail shibu@nkg.or.jp <http://www.nkg.or.jp>

<地域発信企画 in 島根>

「地域で生きる人々のライフコースに寄りそい支えるための取り組み」

フース 1 (308 商談室)	フース 2 (309 商談室)	フース 3 (310 商談室)
◆第1部◆12:10~12:45 (35分)		
<p>【しまね国際センターの取り組み】 SIC訪問日本語コースの紹介 仙田 武司 氏</p>	<p>【出雲市教育委員会の取り組み】 「出雲市日本語初期集中指導教室」の紹介 児玉 佐知子 氏</p>	<p>【トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 の取り組み】 介護系進学をみざす学生への日本語教育 山根 真弓 氏・河原 由実 氏</p>
<p>県内では20か所でボランティアによる日本語教室が開設されています。しかし、身近に教室がないなどの理由で、日本語が学びたくても学べない外国人住民も多いです。この状況を改善し、より多くの外国人住民が日本語学習の機会を得られるよう2018年にスタートした「SIC訪問日本語コース」の取組について、現状・成果・課題などを紹介します。</p>	<p>出雲市では、日本語指導を必要とする児童生徒に対し、初期の日本語教育や学校生活に向けた適応指導を来日又は帰国直後に集中的に行うことで、在籍校での学校生活への円滑な接続を図ることを目的に、「日本語初期集中指導教室」を設置しました。今年4月に開講し、現在までの試行錯誤の取り組みの様子について紹介します。</p>	<p>本校は介護福祉士・保育士を養成する専門学校で、今年度より日本語学科を新設しました。本校在籍の留学生の中には、介護分野での資格取得・就職を目指す学生も含まれ、既に介護施設でのアルバイトもスタートしています。日本語学科教員による日本語教育をベースに、介護福祉学科教員による介護に関する学びの実践を紹介します。</p>
◆第2部◆12:45~13:20 (35分)		
<p>【しまね国際センターの取り組み】 島根県版オリジナル日本語教材「いっしょに にほんご しまねけん」の紹介 佐藤 智照 氏</p>	<p>【MANABIYAの取り組み】 外国にルーツを持つ10代青少年の支援ボランティア 河原 由実 氏</p>	<p>【フジアルテ株式会社の取り組み】 ブラジル人従業員に対する日本語教育 木谷 恵子 氏</p>
<p>『いっしょに にほんご しまねけん』は、「SIC訪問日本語コース」のコースブックです。日本語を使って「日常生活」や「周りの人との交流」ができるようになることを目標としています。この教材の特徴やシラバス、各課の流れなどについてご紹介します。</p>	<p>大きく成長する10代、誰もが出会うであろう悩み。一方で、複数の文化の中にいるからこそその悩み。外国にルーツを持つ子どもは、それらが混在しています。さらに受験など学校制度が壁になって行き場を失うこともあります。そんな彼らを孤独にさせないために、社会との接点づくりや高校受験、日本語学習などの支援をしておりますので、紹介します。</p>	<p>フジアルテでは2017年よりブラジル人従業員に向け、日本語教室を開校しました。現在、約100名の生徒が平日に日本語を学びに来ています。日本語レベルがバラバラのブラジル人に何をどのように教えているか、普段の取り組みと、使っている教材などをご紹介しますと思います。</p>